

日進市立相野山小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

名古屋自然保護官事務所では、10月18日(水)に日進市立相野山小学校、5年生2クラス(48名)を対象に出前講座を実施しました。

講座の狙いは、生物多様性を調べ学習する際に、守られた自然の一例として、藤前干潟の生物多様性や埋立てから保全された経緯を知ってもらい、これから自分たちにできることを考えてもらうというものでした。まず干潟の仕組みや藤前干潟の生きものについて話し、干潟が保全された経緯と国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されたことを伝えました。しかし今も漂着ゴミの問題で多くの生きものに影響を与えていることを話し、合わせて、人間の活動などによって、地球上で多くの生きものが絶滅の危機にあるということも紹介しました。また、その他に、干潟に生息する生きものの観察や、干潟の泥の感触を確かめてもらいました。

藤前干潟を例に、人間は自然を壊すだけでなく、人間が自然を守ることもできることを伝えました。機会があれば藤前干潟に来て生きものの様子を間近で見たり、これからの調べ学習で一人一人が問題解決に向けてできることを深めていってほしいと思います。



* 出前講座の様子 1



* 出前講座の様子 2 (生きもの観察)

2) 講座の内容

テーマ：藤前干潟 生きものたちと自然環境

1. 干潟ってなんだろう？
干潟の仕組み・成立ち (砂泥の観察)
2. どんな生きものがあるの？
DVD鑑賞、シジミの浄化実験
鳥類、底生生物の紹介、食物連鎖
3. 藤前干潟の歴史
4. 藤前干潟の問題
漂着ゴミ、生きものの絶滅の危機
5. 生きもの観察

3) 実施概要

実施日：平成 29 年 10 月 18 日 (水) 13:30～14:55
(5, 6 時間目)

場所：日進市立相野山小学校 (日進市)
対象：小学校 5 年生 (2 クラス、48 名)、
対応：名古屋自然保護官事務所職員 2 名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所 (TEL : 052-389-2877) までお問い合わせください。

2017 年 10 月 19 日
名古屋自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー 吉塚藍